



葛巻町で朗読会を始めて10年になる樹原さん。初日は「父と暮らせば」を朗読



2日目は「天切り松 闇がたり」を和服で朗読

2人の迫力ある朗読の世界に引き込まれる

一人の俳優による朗読の語り舞台「樹原ゆり・高橋和久朗読会2012 in 葛巻」が2月1日から3日間、町内の小中学校や保育園などで計8回開催されました。この朗読会は情感あふれる俳優さんの朗読を通して物語を想像し、心で感じ、心豊かになることを目的に葛巻朗読会実行委員会が主催。映画や舞台で活躍する女優の樹原ゆりさんとテレビドラマや舞台、映画で活躍する俳優の高橋和久さんが朗読をしました。

岩手へエールを送りました。翌日2日の夜にも同会場で行われ、浅田次郎の作品「天切り松 闇がたり」を朗読。浅田次郎さんの作品を朗読することが多い樹原さんは「挫折した人が希望を見出し、乗り越えて新しいことを見出し、読み終えたあと勇気がわいてくるところが、浅田作品の魅力です」と語りました。

また、「子どもたちの聞く姿勢がとっても良かったです。町民の方々が温かく迎えてくださり、ふるさとへ帰ってきたいような気持ちになりました」と樹原さんは3日間を振り返り、感謝しました。この2夜連続公演のほか6回の朗読会の内容は次のとおりです。

★2月1日・江刈小と五日市小（フランダースの犬）、江刈中（父と暮らせば）★2月2日・小屋瀬小と吉ヶ沢小（フランダースの犬、ちいちゃんのかげおくり）、葛巻中と小屋瀬中（父と暮らせば）★2月3日・葛巻保育園（おまえうまそうだな、さかさのこもりくんとおもり）、葛巻小（ハッピーバースデー）

司会を務めた会員の遠藤美樹さん



懐かしい思い出話に花を咲かせる

葛巻ふるさと会（落宰房 夫会長、会員293人）の総会は2月12日、東京都文京区の東京ガーデンパレスで開催され、会員ら約100人が参加し懐かしい思い出話に花を咲かせました。

総会で、落宰会長は「今年で21回目ということで、30年にむけて新しいスタートになります。ふるさと会の会員を増やし、新しい葛巻町出身の皆さんと有意義な会にしていきたい」とあいさつ。葛巻高校同窓会との連携を強めるとともに、出席者に兄弟や親戚、同級生などへ呼びかけるようお願いをしました。

町から出席した鈴木重男町

長は「いつも『わが町くずまき』を案じていただいていることに深く感謝いたします。（風評被害について）わが町の牛乳などは毎日毎日しっかりと検査をしています。安全を確認しておりますので、東北一層のご理解をいただきました」と参加者に訴えました。

総会終了後の懇親会には、当町から参加した葛巻コーリアローが「ふるさと」「風が」など4曲を披露し、参加者はふるさと「くずまき」に思いを寄せました。また、モウモウブライズの2人も歌やトークで会場を盛り上げまし



総会であいさつする落宰会長

葛巻
ふるさと会

